

# KSKQ あかねニュース No.57

川西市障害者共働作業所あかね

〒666-0017 川西市火打1-5-19

Tel&Fax 072-755-4101

ホームページ akanesan.net

E-mail: rassyai-akane@deluxe.ocn.ne.jp

## 出直し！「あかねまじり」

この十年ほど、テレビのニュースカメラの前で、「申し訳ございませんでした。」と深く頭を垂れる「責任者」の姿を、ほんとうに沢山見せられてきました。

大手証券会社や都市銀行の倒産、多数の死傷者を出したJRの重大事故、一方では食料品の賞味期限表示や産地表示の改ざん・偽称異物混入等々、そして政治家による年金滞納、公金の流用、近くは教職員の不正採用から、不純物混入のコメ問題……。

私たちは、テレビで「誠に申し訳ありませんでした」という言葉聞き、姿を見るたびに『本当に反省しているのか!?』・反省だけなら誰でも出来る。問題は反省した成果をどう示すかだ。』……

という感想を、テレビの中の「責任者」たちに投げかけてきました。

今年の春、私たちあかねの補助金過誤請求が指摘されたとき、私たちはテレビにこそ出なかつたものの、各方面の皆様に向かつて「申し訳ございませんでした」とお詫びを繰り返しました。

もとより弁明の余地なきことゆえ、厳しいお叱りが直接(電話やメール)間接(市役所経由で)を問わずシャワーのごとく降り注ぎ、耐える日々が続きました。

一連の処分(過誤請求分の利子付返還、再発防止策の提示など)は、市長からの文書による指導をもつてひとまず収束に至りましたが、そのころお会いしたあかね

を創立当初から一貫して見守ってくださっているある方から言われました。

『あかねさん！十分に社会的制裁を受けて、反省もされました。これからは、その反省の成果を、皆さんに向かつて示していかねあかん。ただおとなしく、ひたすらに反省してばかりじゃ、あきまへんのやで。子どもたちは今度のこととは何も知りまへんのやろ？せやつたら、今まで以上に、元気なあかねを、外に向けてアピールしていきなはれ。過ちを改むるに憚ることなかれ、ですわ。』

勇気付けられる言葉でした。そうだ、ただ反省するだけで、落ち込んでばかりいては、日頃からあかねを支援して下さっている皆様に申し訳が立たない。

あかねのみんなに「底力」というものがあるならば、このようなときにこそ「見せ所」……だ。

毎日発行

一九九一年九月三日 第三種郵便物認可

頒価

定価

一〇〇円

夏から秋に続くいろいろなイベントを通じて、あかねの「元気」を発信して、皆様にもう一度「あかね支援」をお願いしに行こう！そのような決意で私たちは、「夏祭り出店」をし、ヘルパー・ボランティアの皆様はじめ市民の皆様のご協力のもとに、大成功を収めさせていただいたのです。

秋も深まり、恒例の「あかねまつり」が迫ってまいりました。私たちは、毎年、市の好意に甘えてお借りしていた市役所前広場の会場使用を、今年は辞退いたしました。これをふまえ、かつ、「元気の発信」というキーワードを具体化させたもの、今年の「あかねまつり」をどのように実施するか？スタッフ一同相談に相談を重ねた結果、過去十六回を通じてはじめての？「三弾連続企画」案が、浮上しました。ちなみに、その内容は・・・



## 第一弾十月十九日(日) 映画会

身体障がい者・福永さんの製作監督による映画「こんちくししょう」の上映と福永さんの講演を通じて、障がい者の地域での自立・共生を考えようというイベントです。川西市中央公民館にて。参加費は、資料代として五百円。

## 第二弾十月二十六日(日) 落語会

名づけて「あかね元気寄席」今年「なにわ繁盛亭大賞」を受賞して一段と注目を浴びている林家染二師匠の独演会です。笑いあり涙ありの上方古典落語にまじかに触れる機会です。師匠のご理解を得て格安のチケットを用意させていただきました。

入場料千五百円、川西市商工会館にて。障害のある人もない人もともに生きる地域を！  
寄席という場に、集い、共に笑い、元気に  
なりましょう！

## 第三弾十一月三日(月・祝)

### 例年のあかねまつり

もうお馴染みになつている市役所前広場から、あかね作業所前の駐車場に場所を移して行きます。ややミニサイズ版になりますが、食べ物模擬店・バザー・フリマ・ミニステージがならびます。

秋の好日、買い物・食べる・体験・音楽などなど、一日ゆつたりと楽しく過ごせることと存じます。

このように、数々の趣向を凝らして、スタッフ一同は、秋のイベント準備に余念がありません。

みなさま、どうぞこの十月後半から十一月にかけての休日を、あかねと共に過ごしてお越しくください。

皆様の元気と、あかねの元気とが、ぶつかりあつて大きなエネルギーが、生まれることでしょう。心からお待ちしています。

NPOあかね 代表 芳川 雅美

# あかね映画会

— '08 第17回あかねまつり  
連続企画 第一弾 —

上映後、製作者 福永さんの講演と  
座談会があります。

(注)会場が40~50名の定員ですので、  
必ず、TELにて予約申込みをして  
くださるようお願いいたします。

# こんちくしょう

障害者自立生活運動の先駆者たち



福永年久さんの講演と座談会

今から約40年前、  
制度も何も存在せず、  
重度障害者が、  
街なかに存在することすら  
ありえなかった時代に、  
地域での自立生活を実現  
した先駆者がいる。  
私はその扉を開いた三人の  
先駆者のもとを訪ね、  
証言をカメラにおさめた。

福永年久

企画・製作・配給  
『こんちくしょう』製作委員会  
特定非営利活動法人 障害者生活支援センター遊び雲

日時 10月19日(日)

13:30 開場  
14:00 映画上映~15:00  
15:20 講演と座談会  
16:30 閉会

会場 川西市中央公民館  
視聴覚室

資料代として500円

— 今年のあかねまつりは三部構成 —

① 10/19(日) あかね映画会  
「こんちくしょう」

② 10/26(日) あかね元気寄席  
— 林家染二独演会 —  
川西市商工会館4Fホールにて  
入場料 1,500円

③ 11/3(祝) バザー・フリマ・模擬店だ  
あかね作業所前の駐車場にて  
10:00~15:30

主催・問い合わせ 共働作業所あかね 072-755-4101

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価 一〇〇円

'08 第17回あかねまつり  
連続企画 第二弾

# あかね 元気寄席

～林家染二独演会～

(第2回天満天神繁昌亭大賞受賞)

日時 10月26日(日)

13:30 開場  
14:00 開演

会場 川西市商工会館 4Fホール  
川西市出在家町1-8  
TEL. 072-759-8222

のせてん「絹延橋駅」下車、徒歩5分  
お車でのお越しは、お断りさせて頂きま

入場料 1,500円 (前売・当日とも)



出演

林家 卯三郎「子ほめ」  
林家 染二「替わり目  
中入り」  
林家 染二「お楽しみ」?  
三味線... 脇阪新子

※染二師匠があかねまつりの  
主旨に賛同して頂いたこと  
により実現しました。

林家染二

～今年のおかねまつりは3弾企画～

- ① 10/9(日) 映画「こんちくしょう」と講演  
中央公民館にて14:00～
- ② 10/26(日) あかね元気寄席
- ③ 10/30(祝) バザー・フリマ・模擬店など  
あかね作業所前の駐車場にて

主催・お問い合わせ・チケット販売

あかねはうす・川西市障害者共働作業所あかね

川西市火打1-5-19

TEL.FAX 072-755-4101

# 地域で、暮らし続けるために！

「生きていたら何が起こるかわからへん」いや、生きているからいろんな事が起こってくるんや！死んだら何も無いでー。

ほな、生きている間に、どんなことでも引き受けようやないか！

最近、私の身の回りにふりかかる数々の荒波をかぶりながら、ふとした瞬間体の中から、叫び声が聞こえてくるのである。

私の息子、三十六歳の知的障害者。

三十五年間、知的に障害はあるけれど、おとなしくおだやかで、本当に手のかからない、やさしい息子であった。

その彼が、一年ほど前から大暴れするようになった。二十四時間気持ちを緩めることができない。

どうなってしまったのか？

どうすればいいのか？よく分からない。よっしゃ！好きなようにしなさい！私が受けとめたるう！なんとかなるやろ！

そして、今年初めに起こったあかねの新聞報道、皆さんにも大変ご心配をおかけしました。まだまだ続くつらい日々です。

そして、また、メンバーの一人、両親を失いおばさんと暮らしている彼女にまた心配事が・・・面倒を見てくださるおばさんご自身が、八十歳を越えるご高齢で、一緒に暮らすのが難しくなってきた。以前から覚悟はしていたのですが？

彼女が地域で一人で暮らすには、食事・金銭・健康・安全の自己管理には、ヘルプがどうしても必要。グループホームはないし、施設に入れてしまえといつても、現実空きはないし、地域で共に生きていくという支援法の趣旨にもそぐわない。もちろんあかねの存在意義にも反する。

具体的には、昼間は作業所という居場所がある。要するに、彼女と一緒に寝泊りするというヘルプが必要なのだが・・・

支援法の福祉サービスに、寝泊りを一緒にするというものはない。個人的に有料のサービスを！といつても、彼女の経済力では叶わない。

そして、またまた、作業所の中でも男女の問題は発生する。恋愛事件？やらケンカがからむ・・・のである。

どれもこれも、みんな生きているから起こること。これからも思いもよらない事柄がいつばい生まれてくるのだろう。

そんな中には、喜びあふれる感動的な場面も少なくないはず。苦しくて悲しくて、どうにもならないこともいっぱいあるだろう。

そんなことを、フツフツと考えている時、よみうり二十四時間テレビをみた。

「生後一ヶ月の余命です」と宣告されたお母さん。なんとその女の子が今、小学校へ通っているという。「母は強し」やなあ。悲劇の主人公になりがちな自分を戒めた。もつともつと強くならねば。『やさしさこそ強さと知れ』（中川希望塾五訓）  
ネバー・ギブアップ！ 富田 啓子

